

NACOME

全国大学音楽教育学会 関西地区学会
平成 29 年度 総会・前期研究会

平成 29 年 7 月 2 日（日）13：00～16：40

大阪市立総合生涯学習センター（第 1 研修室）

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5 階

主催 全国大学音楽教育学会 関西地区学会

全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 29 年度 総会・前期研究会

I. 総会・学会諸連絡 (13:00~13:45)

1. 理事会報告
2. 関西地区学会 平成 28 年度活動報告、平成 28 年度決算報告
3. 関西地区学会 平成 29 年度活動計画 (案)、平成 29 年度予算 (案)
4. その他

II. 研究発表 (13:45~14:15)

1. ○桐山由香 (大和大学)、岡田知也 (香川大学)
「子どもの表現を導く支援ができる保育者養成に関する実践研究 (3)」

本研究の目的は、

- 1) 子どもの表現を導くことができる保育者を養成するために、音楽に関する授業科目において育てるべき資質・能力について考察し、
- 2) そのことを保証する授業内容を再構築し、
- 3) 授業内容が適正であるかについて検証を試みることである。今回は、前回に引き続き指導法科目である「保育内容の指導法 (幼児音楽)」の授業内容を取り上げ、とりわけその大きな目的の一つである模擬保育の実践について検証をこころみることとする。

* * * 休 憩 * * *

III. 講 演 (14:30~16:00)

講師：高橋 一行澤 先生

演題：「民族音楽文化から幼児音楽教育をさぐる」

1998 年 ISME 南アフリカ大会参加した折、アフリカの子ども達が身体全身を使って演奏を楽しんでいることに共感を覚え、「楽譜のいない音楽作り」に着目した。養成校の学生にとって、ピアノの学習は、楽譜を読むことに一生懸命になり、音楽を楽しむことは次の段階になっている。「楽譜が音楽を楽しむことを邪魔する」という考えの中で楽譜が無くても「音楽を早く楽しめる方法はないのか」ということを思い、アフリカ音楽からの研究を始めた。その後ブラジル、バリ島、沖縄等に行き、それぞれの民族音楽の実態調査を行い、それらを基に、幼児・児童の音楽教育の研究を進めている。これらの研究は大学の授業でも取り上げ、学生達と「楽譜のない音楽」として、遊びながら学ぶことを行っている。講演は、これらを土台としてワークショップ形式で行いたい。

質疑応答：(16:00~16:15)

<高橋 一行 先生 プロフィール>

1975 国立音楽大学 器楽科卒業
1975～1986 大学卒業後、大学や市民の管弦楽団を指揮指導
1985/04～ 武蔵野女子大学短期大学部幼児教育科非常勤講師
1986/04～1991/03 武蔵野女子大学短期大学部幼児教育科講師
1991/04～2000/03 武蔵野女子大学短期大学部幼児教育科助教授
2000/04～2003/03 武蔵野女子大学短期大学部幼児教育科教授
2003/04～現在 武蔵野大学 教授

全国大学音楽教育学会には1985年より入会し、2000年年関東地区副会長、2005年年関東地区会長、2008年副理事長、2016年理事長を務め現在に至る。

研究分野は多岐にわたり、主な研究論文は「幼児における音楽と視覚イメージの関連性について」「音と色の関連性」「中国地方の子守唄のルーツ」「楽譜のない音楽創りの考察—アフリカ音楽から幼児音楽教育をさぐる」「バリ島の民族音楽から幼児・児童に於ける音楽教育のあり方をさぐる」「教員養成課程における沖縄三線の指導に関する研究」等

「保育者のためのリズム遊び」音楽之友社 編著木許隆・高倉秋子・高橋一行・三縄公一
武蔵野市土曜学校 「武蔵野大学リズム道場」講師